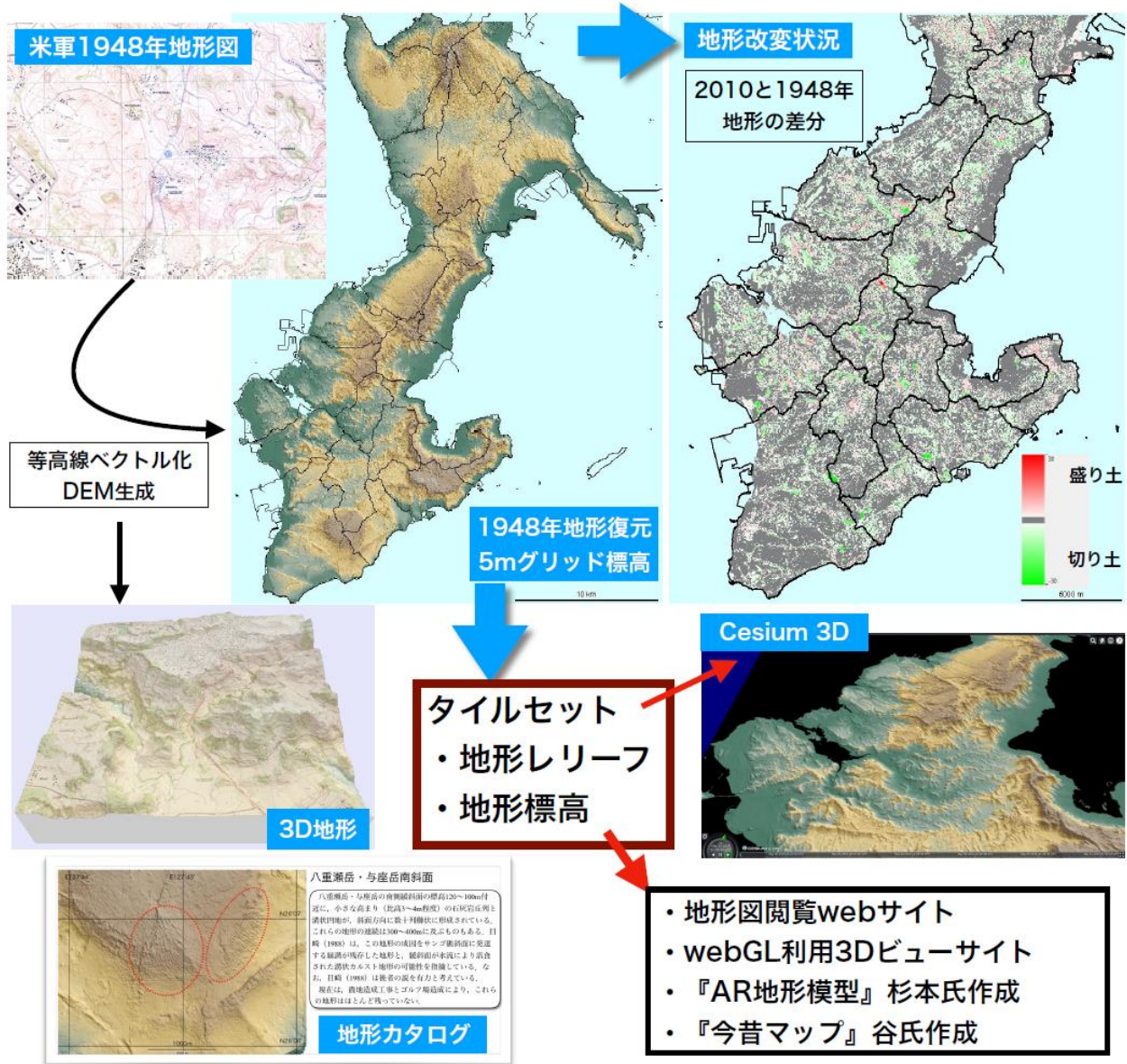


沖縄島中南部 1948 年地形復元

—失われた亜熱帯地形をバーチャル空間に—

GIS 沖縄研究室 渡邊康志
 沖縄大学名誉教授 上原富二男

キーワード 沖縄、1948年、地形、3D、タイルセット



戦後、米軍基地建設や沖縄島中南部の人口増加への対応のため、大規模な地形改変が行われていった。都市内陸部では宅地開発や区画整理事業が、農村地帯では大規模な圃場整備が行われた。これらの地形改変により、亜熱帯気候と沖縄島独特な地質を基盤とした台地・丘陵地の亜熱帯性地形が破壊された。一方、このような地形は多くの研究者により調査されてきたが、これらの研究者も研究を去る時期を迎え、沖縄にあった独特な地形が忘れ去られてしまう可能性がある。そこで、破壊以前の地形を記録した1948年米軍作成1/4800地形図から地形改変以前の詳細地形をグリッド標高データとして復元した。さらに、このデータをデジタル地形図や3D地形ビュー、地形タイルセットとして公開するとともに、現在は失われてしまった亜熱帯気候と島尻層群砂岩・泥岩や琉球石灰岩が作り出す独特な地形を復元地形データから読み取りカタログ化を試みた。 <http://www.gis-okinawa.jp/2019/index.html>